

第3章 市川市の教育政策の基本的な考え方

1 基本理念

教育委員会では、第3期計画においても引き続き、

「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」

を基本理念として教育の振興を図ります。

人は、多様な人と関わりながら生活をしています。また、自然との共存や、文化的な利益の享受は、人として生きていくために欠かせないものとなっています。このようなさまざまな関わりを通して、自らの思考や感情、興味や関心を育み、心を豊かなものとしています。

技術革新の進展、長寿化に伴い、産業構造や私たちの生活が大きく変わっていく未来社会においては、誰もが自分の個性を伸ばし、可能性を広げ、夢の実現につなげる先見的な教育と、生涯を通じて主体的に学び続けることのできる教育環境の実現が不可欠です。

さらに、教育によって、人と自然、人と社会との成り立ちを学び、自らの生き方について考え、実践する力を養うなど豊かな人間性を育てていくことがさらに重要になります。

これらのことから教育委員会では、第3期計画においても、「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」を基本理念として、それぞれのライフステージにおける学びや家庭・学校・地域の連携・協働を大切にした「つなぐ教育」を進めます。

教育は、家庭・学校・地域が連携・協働し、それぞれの役割を果たすことで成し得ることです。

「人をつなぐ教育」とは、家庭・学校・地域が一体となって、子どもを育てていく教育です。「教育の共有化」という理念の下、コミュニティ・スクールなど地域とともにある学校づくりと地域教育力を組織化し、地域全体で子どもを守り育てる環境づくりをさらに推進します。

「未来へつなぐ教育」とは、学びと育ちの連続性を大事にして、個性の伸長を図り、子どもの夢や思いを実現する教育です。「教育の接続化」という理念の下、中学校ブロック単位※における指導の一貫化の取組や特別支援教育の視点を生かした指導・支援を通して、進学・進級時のなめらかな接続と一人一人のニーズに応じた適切な段差の設定を図り、長期的な視野に立った教育、そして、自分らしく輝くための学びを実現します。

※ 中学校ブロック単位…市川市では、中学校とその学区内にある小学校でグループを作り、地域の小・中学校が連携している。15のブロックがある。

2 基本的な3つの考え方

基本理念をふまえて、今後5年間を通して実施するさまざまな施策の実現にあたっては、次の3つの考え方を重視します。

I 多様な人との関わりを大切にして、個人の自立を促すとともに、社会の一員としての自覚を養う教育を進めます

人は多様な人と出会う中で、相手の意見を聞き、自らの考えを深めるとともに、他人を思いやり敬う気持ちを培います。

また、年齢、性別、国籍、経済事情、障がいの有無など、多様な人々との関わりによって、お互いの人格を尊重し支え合いながら、他者を認めることを学びます。

このように人は、さまざまな関わりの中で自立を図り、社会を支える一員へと成長します。健全な社会は、一人一人が互いに認め合い、尊重し合う中で構築されます。

このことから教育においては、多様な人との関わりの中で、自らの責任と役割についての自覚を促すとともに、規範意識を養い、ともに行動し協力する姿勢を育むことに重点をおきます。

そして、学校を核とした地域コミュニティのあたたかい人と人との関わりの中で、個人の自立を促すとともに、社会の一員としての自覚を養う教育を進めます。

Ⅱ 一人一人が、主体的に学び、個性を伸ばし可能性を広げることのできる教育を進めます

変化の激しい社会を生き抜いていくためには、私たち一人一人が生涯にわたって質の高い学びを重ね、個性を伸ばし、可能性を広げていくことができるようにすることが重要となります。

そして、確かな学力を身に付け、自ら考え自ら行動する、主体的な学びの態度を育成することは、知恵や感性を磨き、創造性を発揮していく基となり、このことが社会を豊かにしていくといえます。

また、人の成長は、学んだことを自分の考えや行動に生かすことにより遂げられるものであり、ここに学びの重要性があります。

このことから、一人一人の個性を伸ばし、可能性を広げることのできる“豊かな学び”を実現します。

“豊かな学び”とは、生涯を通じて、これまでの学びを深めたり、学び直したりすることや、新たな学び、文化活動、スポーツに挑戦するなど、人それぞれの主体的な学びの姿です。

これまでも教育委員会では、学校や図書館、博物館などで豊かな学びができるように取り組んできました。さらに、一人一人のニーズに対応した教育機会を提供することや ICT の利活用による個に応じた進度や到達目標に向けた学習など、学校教育においても生涯を通じた学びにおいても、さまざまな学び方を可能にする取組を進めます。

Ⅲ 学びや育ちの連続性と社会との連携を強化し、豊かな人間性を育む教育を進めます

これからの社会においては、ICT等の技術を的確に利用し、使いこなしていくことができるように人間ならではの知恵や感性を磨き、豊かな人間性を育んでいくことが重要です。

豊かな人間性とは、多様性を認め合う心や自他ともに大切にする心などの豊かな心と知識や能力を身に付け、さらに自分の個性を伸ばし、可能性を広げようとする意欲や気力を兼ね備えたものです。

豊かな人間性は、家庭・学校・地域の連携・協働によるあたたかい人と人との関わりの中で、感性を磨くことによって育まれます。

これまでも教育委員会では、家庭・学校・地域が一体となって地域全体で教育に関わる取組を行ってきました。これまでに市川教育でつくりあげてきた家庭・学校・地域の連携・協働する取組を、継続・発展させていきます。

さらに、誰もが、いつでも学びたいことを学んでいくことのできる、一人一人のライフステージや教育的ニーズに応じた“自分らしく輝くための学び”を実現します。

“自分らしく輝くための学び”とは、生涯にわたり、主体的に学び続けるいわゆる生涯学習です。

誰もが個性を伸ばし、可能性を広げていくことができる“自分らしく輝くための学び”を実現します。

その実現のために、それぞれのライフステージにおける学びの成果が、次のステップに生きる学びや育ちの連続性を大事に、家庭・学校・地域がそれぞれの役割と責任を担う連携・協働によるつなぐ教育に重点をおきます。